

LIVE
レポート
REPORT

SMBC日興IRフォーラム2019

6039

日本動物高度医療センター  日本動物高度医療センター



代表取締役社長
平尾 秀博氏



「動物医療に真剣に取り組む会社」

会社概要・プロフィール

● 会社概要

- 2005年9月設立、2015年3月に東証マザーズ上場
- 犬・猫向けの高度医療（二次診療）を行う動物病院
- 川崎、名古屋、東京（足立区）に3病院
- 子会社キャミックで、高度医療機器を用いた動物の画像診断センターを4拠点
- 2019年3月売上高：2,563百万円、当期純利益294百万円

● 診療体制：高度かつ総合的な獣医療を提供

- 循環器・呼吸器科、泌尿器生殖器・消化器科、放射線・画像診断科など、特定の診療分野に特化した11の診療科を持ち、診療を行う
- 併発する分野の疾患などに、複数の診療科で診療を実施
- 全国17の獣医科大学病院を除いては、同等の機能を持つ動物病院は存在しない

中長期戦略

● 市場動向

- 犬の飼育頭数は減少傾向だが、猫はやや増加
2018年犬猫飼育頭数：前年比0.5%増の18,552千頭。
1世帯当たりの動物医療費用は2005年比で約1.6倍
- ペット保険契約件数：2019年見込みで191万件と2014年比で倍増、普及率はまだ10%程度で、成長余地あり

● 中長期戦略

- 全国主要都市に施設展開を積極的に推進
- 2021年秋頃には大阪病院を開業予定
- 地域動物病院との連携も引き続き積極的に推進
- 動物医療に関連した事業買収を推進し、事業領域拡大
- 診療外領域で患者動物・飼い主・かかりつけ動物病院をサポートする新規事業へ挑戦

特徴・強み

● 当社が提供する高品質なサービス

- かかりつけ動物病院からの紹介で患者動物の二次診療を実施。充実した動物医療体制を実現
- 獣医科大学病院と同等かそれ以上の高度医療機器を完備
- 年中無休で、予約の速さ（原則当日または翌日の受入）、簡便さ（紹介医の電話により受入可能）など柔軟な受け入れ対応
- 専門診療科において複数の獣医師・スタッフによるチーム医療を実践
- 「小動物臨床研修診療施設」として民間初の指定（農林水産大臣より）
- 全国の動物病院11,981病院のうち3,638病院と連携（2019年11月末）
- 関東・東京合同地区獣医師大会にて、学会長賞・奨励賞を7年連続受賞

株主還元・配当政策

● 配当政策

- 株主様に対する利益還元は重要な経営課題の一つ
- 事業拡大過程で、経営基盤強化や積極的な事業展開のために、内部留保を充実
- より一層の業容拡大を目指すことが、株主様に対する最大の利益還元につながるかと考えており、創業以来2019年3月期まで無配当
- 今後も当面は、内部留保の充実を図る方針。将来的には、経営成績及び財政状態を勘案しながら株主様への利益配分を検討。
- 配当の可能性や実施時期については未定